

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-3255 (P2021-3255A)  
【公開日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-002  
【出願番号】特願 2019-117991 (P2019-117991)  
【国際特許分類】

A 4 7 J 27/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 27/00 1 0 3 E

A 4 7 J 27/00 1 0 3 G

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 7 日 (2021.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上面を開口した内釜収納部を有する本体部と、  
前記内釜収納部に着脱自在に装着された内釜と、  
前記本体部の上面開口を開閉可能に覆う蓋体と、を備え、  
前記蓋体には、前記内釜内の蒸気を外部へ排出させる蒸気口が外面に形成され、前記蒸気口と前記内釜の内部とを連通する中空構造の蒸気排出部が設けられており、  
前記蒸気排出部には、保湿弁体が設けられ、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に、内部に溜まった水滴が外部へ排出されることを抑制する第 1 空間部が形成され、  
前記保湿弁体は、前記蒸気排出部の開口面の内側壁面に対して空隙を持つように弁体部を形成したことを特徴とする、炊飯器。

【請求項 2】

前記蓋体は、前記蒸気排出部が取り付けられる外蓋と、  
前記外蓋に着脱自在に取り付けられ、前記蓋体で前記本体部の上面開口を閉じた際に、前記内釜の上部開口を閉塞する内蓋と、を備え、  
前記内蓋は、前記外蓋に取り付けられる第 1 内蓋と、前記本体部の上面開口に対向させて前記第 1 内蓋に取り付けられ、前記第 1 内蓋との間に空間部を形成する第 2 内蓋と、を有し、  
前記第 2 内蓋には、前記内釜内の蒸気を前記第 1 空間部へ導入する蒸気導入穴が形成され、  
前記第 1 内蓋には、前記第 1 空間部に導入した蒸気を前記蒸気排出部へ排出させる蒸気排出穴が形成されている、請求項 1 に記載の炊飯器。

【請求項 3】

前記蒸気排出部には、前記保湿弁体と前記内釜との間に第 2 空間部が形成されている、請求項 1 ~ 2 のいずれか一項に記載の炊飯器。

【請求項 4】

前記蒸気排出部は、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に前記第 1 空間部を形成する筒状の第 1 蒸気排出部材と、  
前記保湿弁体と前記内釜との間に前記第 2 空間部を形成する筒状の第 2 蒸気排出部材と

、を有し、

前記保湿弁体は、前記第 1 蒸気排出部材と前記第 2 蒸気排出部材との間に配置されている、請求項 3 に記載の炊飯器。

【請求項 5】

前記保湿弁体は、

前記第 1 蒸気排出部材と前記第 2 蒸気排出部材とに挟持される支持部と、

前記支持部に回動自在に支持され、蒸気圧の高まりに応じて開閉する弁体部と、を有し

、

前記第 2 蒸気排出部材の開口面の内側壁面は、前記弁体部に対して空隙を持つように形成したことを特徴とする、請求項 4 に記載の炊飯器。

【請求項 6】

前記保湿弁体は、前記支持部が前記本体部の前面側に位置するように、前記第 1 蒸気排出部材と前記第 2 蒸気排出部材との間に配置されている、請求項 5 に記載の炊飯器。

【請求項 7】

前記弁体部は、前記第 2 蒸気排出部材の開口面と相似形状である、請求項 4 ～ 6 のいずれか一項に記載の炊飯器。

【請求項 8】

前記第 1 空間部を形成する前記蒸気排出部には、前記蒸気排出部の内部に溜まった水滴を前記蒸気口の手前で堰き止めるリブが形成されている、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の炊飯器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る炊飯器は、上面を開口した内釜収納部を有する本体部と、前記内釜収納部に着脱自在に装着された内釜と、前記本体部の上面開口を開閉可能に覆う蓋体と、を備え、前記蓋体には、前記内釜内の蒸気を外部へ排出させる蒸気口が外面に形成され、前記蒸気口と前記内釜の内部とを連通する中空構造の蒸気排出部が設けられており、前記蒸気排出部には、蒸気圧の高まりに応じて開閉する保湿弁体が設けられ、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に、内部に溜まった水滴が外部へ排出されることを抑制する第 1 空間部が形成され、前記保湿弁体は、前記蒸気排出部の開口面の内側壁面に対して空隙を持つように弁体部を形成したことを特徴とする。